

事務事業名		葛生化石館企画展等開設事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務	担当課	葛生化石館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係			担当課長名	金原隆徳
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14838	一般	10	4	4	葛生化石館企画展等開設事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H16年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法、博物館条例					
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
常設の展示とは別に、年2回、自然や化石、鉱物などに関することを企画展示する。夏の企画展には、関連講座を実施。			・「単弓類って知ってる?展」 7月12日～10月13日 ・「しるしるFossil-とちぎ化石発掘最前線-展」 ①7月5日～9月28日②11月29日～3月8日 ・講演会「単弓類:恐竜以前に栄えた生き物たち」 8月3日								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
開催期間入館者数			人	22,752	10,960	11,000	11,100	11,200			
企画展開催数			回	4	2	1					
講演会参加者数			人	22	38	40	40	40			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民及び市外からの入館者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市民の人口			人	123,182	122,582						
開催期間入館者数			人	22,752	10,960	11,000	11,100	11,200			
来館者数			人	24,920	19,738	19,100	19,200	19,300			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
より多くの人に化石、鉱物などについての知識を深めてもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
開催期間入館者数/市民数			%	18.5	8.9						
期間中入館者前年度比			%	191.2	48.2	100.4	100.9	100.9			
満足度			%	96.7	97.1	97.2	97.3	97.4			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合			%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	124	97	158					
	事業費計(A)	千円	124	97	158	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	34	報償費	30	報償費	54		
			旅費	13	旅費	4	旅費	9		
需用費			58	需用費	42	需用費	49			
高速使用料			19	高速使用料	21	高速使用料	35			
動産保険料			0	動産保険料	0	動産保険料	11			
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	246	126	126	126	126				
人件費計(B)	千円	957	497	497	497	497				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,081	594	655	497	497				

事務事業名	葛生化石館企画展等開設事業	担当部	教育総務	担当課	葛生化石館	担当係	
-------	---------------	-----	------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	それまで郷土資料室の一部に化石を展示するという形であったものを、平成14年度に改装し、化石・鉱物・各種標本などを展示する「化石館」とした。平成17年1月拡張し、2月の合併により「佐野市葛生化石館」となった。企画展を開催するようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成16年度学芸員の配置により、展示内容が充実した。平成17年2月28日の市町合併に伴い、博物館登録をし、博物館としての機能が整備された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	資料及び内容が充実している。まだまだ知られていないのでPRすべきであるという声がある。企画展に因んだ講演会に関しては、この種の講演会の開催を切望する声有り。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	地域の化石・鉱物等を通し、自然史の理解を深めることは郷土への愛着を育むことにつながり妥当である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	入館者に対し、地元石灰産業界への理解を促す使命は大きい。本施設は、化石資源の保護、活用を併せ持つ数少ない施設であり、市が行う事業と考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	実態に即しており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市民に対して周知が十分であるとは言えず、今後は来館者を増やす余地は有る。より一層PR等を工夫し、周知を図る必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	平成21年度は館長が配置され職員3名体制となったが、平成22年度からはふたたび2名体制に戻り人件費の削減の余地はない。事業費も同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	博物館法では、公立博物館は入館料、その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならないと規定されており、例えわずかな入館料を徴収しても、それにかかる経費の方が大きく入館者も減少する可能性があるため、このままで適正と考える。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本事業は休止も終了もできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			